

# 議会だより

No146

平成28年  
1月31日発行

群馬県邑楽町議会 URL <http://www.town.ora.gunma.jp/chosei/gikai> E-mail [gikai@swan.town.ora.gunma.jp](mailto:gikai@swan.town.ora.gunma.jp)



多々良沼の白鳥と浮島弁財天

## 平成27年 12月定例会

平成27年度補正予算可決(一般会計・各特別会計)

- 可決された議案……………3
- 一般質問…………… 4~10
- わたしのふるさと等……11~12

### 一般質問 7人の議員が町の考えを問う

- ・坂井孝次 議員
- ・大野貞夫 議員
- ・大賀孝訓 議員
- ・原 義裕 議員
- ・黒田重利 議員
- ・松島茂喜 議員
- ・小島幸典 議員

動画による配信が始まりました  
ホームページからアクセスできますので  
ご覧ください

議長年頭のあいさつ

# 安全安心な まちづくりを目指して



議長  
田部 健二

新年明けましておめでとうございます。皆さまには、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。町民皆さまにとって素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと関東・東北豪雨により隣の県である栃木県や茨城県において、甚大な被害が発生いたしました。町が濁流に飲み込まれる映像は見るに堪えがたいものがありました。この豪雨により多くの方が家を失い、8人もの尊い命が失われてしまいました。邑楽町からそう遠くない場所での災害であり、改めて自然の驚異をまざまざと見せつけられたような思いであります。犠牲になられた方々に心から哀悼の意を表します。

町においては、4月に町議会議員選挙が行われ、新しいスタートを切らせていただきました。これからも町民が安全・安心に暮らせるまちづくりを目指し、皆さまの負託に応えられるよう議員一同その職責を果たしてまいりたいと思っております。

本年も皆さまのご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願いを申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

## 謹んで新年のお慶びを申し上げます

議長 田部 健二  
副議長 大野 貞夫

### 総務教育常任委員会

委員長 坂井 孝次  
副委員長 塩井 早苗  
委員 半田 晴

〃 神谷 長平  
〃 大賀 孝訓  
〃 黒田 重利

### 産業福祉常任委員会

委員長 原 義裕  
副委員長 松村 潤  
委員 小島 幸典  
〃 大野 貞夫  
〃 松島 茂喜  
〃 瀬山 登

# 可決された議案

## 【条例改正等】

**群馬東部水道企業団の規約変更に関する協議**

公共下水道等の使用料を徴収する事務が追加されたため、規約の一部を改正する協議について議決しました。

**西邑楽土地開発公社定款の変更**

設立団体から邑楽町及び大泉町が脱退することに伴い、定款を変更しました。

**邑楽町税条例の改正**

「地方税法等の一部を改正する法律」の施行に伴い、条例の一部を改正しました。

**邑楽町勤労青少年ホームの設置及び管理に関する条例の改正**

「勤労青少年福祉法等の一部を改正する法律」の公布に伴い、条例の一部を改正しました。

**邑楽町国民健康保険条例の改正**

退職者医療制度の廃止に伴い、国民健康保険運営協議会の委員の定数が変更となることから、条例の一部を改正しました。

**邑楽町介護保険条例の改正**

介護予防・日常生活支援総合事業の開始時期を、平成28年3月1日に変更するため、条例の一部を改正しました。

**邑楽町水道事業の設置等に関する条例を廃止する条例**

**邑楽町水道事業の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例**

**邑楽町課設置条例の改正**

**邑楽町議会委員会条例の改正**

群馬東部水道企業団の設立に伴い、水道事業が町から企業団に移管されること

から、関係する条例の廃止や一部改正を行いました。

**【指定管理者の指定】**

**邑楽町福祉センター・寿荘**

**邑楽町地域活動支援センター**

**邑楽町高齢者活力センター**

指定管理者

社会福祉法人邑楽町社会福祉協議会

指定の期間

平成28年4月1日から

平成33年3月31日まで

**【契約締結事項の変更】**

**邑楽町立北保育園改築工事**

(建築工事)

契約金額

1億9191万6000円

から2億565万3600円に変更

(1373万7600円増)

**※変更理由**

保育室や廊下等に設置する

造作家具等の追加



■ 平成27年度補正予算額

会計別	予算現額	補正額	予算総額
一般会計	93億3,124万円	1億3,605万円	94億6,729万円
国民健康保険特別会計	36億7,064万円	2億3,036万円	39億0,100万円
後期高齢者医療特別会計	2億2,393万円	38万円	2億2,431万円
介護保険特別会計	18億6,408万円	16万円	18億6,424万円
下水道事業特別会計	3億0,540万円	162万円	3億0,702万円
学校給食事業特別会計	2億4,567万円	86万円	2億4,653万円
水道事業会計	5億2,939万円	△568万円	5億2,371万円
収益的支出			

## 一般質問

一般質問は、12月24日及び25日に行われました。質問には、7人の議員が登壇し、町の行政事務などについて執行部の考えをただし、活発な議論が行われました。

## 非正規職員の現状と今後の対応

**坂井孝次議員** 今、日本は経済規模で、世界第3位。物資的には豊かだが、今の社会環境は、所得格差の拡大から6人に1人が貧困層といわれている。これは世界規模でワースト4位である。また、子どもの貧困率も16・3%と過去最悪を更新している。そして今、官製ワーキングプアという言葉が聞かれる。これは自治体が貧困層を作っているというのだが、町長の受け止め方は。

複合的に絡み合った中で、この状況が生み出されていると思う。ワーキングプアを自治体で作っているという認識は、持っていない。

**坂井孝次議員** ここ5年間の正規職員、臨時職員の推移は。

**町長** 平成22年からの5年間で、正規職員は同数の195人。臨時職員は169人から216人で、率にして27%ほど増加している。

**坂井孝次議員** 正規職員と非正規職員の給料の差はどのようになっているか。

**町長** 30歳代での正規職員の平均給与は24万1000円、臨時職員の平均賃金は

17万2000円で、差額は6万9000円である。

**坂井孝次議員** これでは結婚はおろか、子どもを育てることは非常に難しい。子どもの貧困率16・3%の環境を打開するために、町長はどのように考えているか。

**町長** 子どもの貧困率が高い原因としては、母子家庭や低賃金の非正規職員の増加等が挙げられると思う。臨時職員の賃金については、検討を加え、若干の引き上げも考えている。

**坂井孝次議員** お金の支援も大切だと思うが、むしろ思いっきり活躍できる職場を与えることのほうが大切だと思う。苦勞してきた人に仕事を与えられたら、その人は感謝して、一生懸命町のために働いてくれると思うが。

### 採用は公正な

### 試験制度で

**町長** 採用については公正

な試験制度で実施しており、今後もそのように考えていきたい。

**坂井孝次議員** 採用には町内在住の優位性と、家族の所得水準の配慮も考えて欲しいが、この方法は痛烈に批判をされると思う。しかし、それを乗り越えてこそ期待される行政サービスができると思っている。たと

え成績が悪くても、「この人は町に必要だ」と思えたら、ぜひそういう人を活かして欲しい。

**町長** 貴重な意見として承った。町には職員の採用規定と基準があり、公に募集をし、競争試験を行う中で決定することになっている。今後ともこのような形で行っていく。

## 中央公民館について

**大野貞夫議員** 公民館活動の役割と、生涯学習についての基本的な認識は。

**教育長** 住民の実生活に即する教育、学術及び文化に関する事業を行い、教養の向上、健康増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進、町民の学習権を保障する施設である。個人の自己実現の向上のみならず、町づくりや町の活性化につながるかと考えている。

**大野貞夫議員** 憲法第26条に、教育の基本がうたわれている。そして、社会教育法があり、社会教育施設として、公民館や図書館、博物館などが含まれると思うが、その点についてどうか。

**教育長** 学ぶ権利があり、それを施設で学ぶということである。教育を施す施設全てがあたると思う。

**大野貞夫議員** 生涯学習の理念ということだが、社会

教育法第3条2項に、「国民の学習に対する多様な需要を踏まえ、適切に対応するために必要な学習の機会の提供及びその奨励を行うこと」とある。公民館において、地域のニーズに応じて講座の開設や子育ての拠点となる活動を積極的に行うなど、社会の要請に応じた学習活動機会の量的・質的な充実に努め、その成果を地域の向上に生かすことが必要である。また、関係諸団体と連携協力し、課題解決に向けた支援を行い、地域における公共を作るための拠点となることが求められる。まさに公民館をはじめ、社会教育施設は、学習の場であり、今日まで果たしてきた邑楽町公民館、ヤングプラザ、産業研修会館の役割についての評価は、**教育長** 一つは、学びたい

要求に応じて、生涯学習の拠点としてさまざまな授業を展開、学び方を提供し発信してきた。二つ目は、地域のコミュニケーション活動を

支える場として、各行政区の共同事務室的な役割を果たし、交流の場作り、ボランティア活動など、町の活性化につなげてきた。

**大野貞夫議員** 教育長と私のやり取りを聞いて、町長はどのように思うか。

**町長** 各種施設は、生涯学習活動の拠点として大切である。また、町民の皆さんにも引き続き、自己研鑽のための学習活動を進めていただくことが大切である。

**大野貞夫議員** 今、施設の有料化の話がでていいる。今言われた趣旨の中で、この考え方はいかがかという疑問がある。最近、受益者負担が、どの分野をとっても非常に多い。具体的に、どの程度まで進んでいるのか。

**若干の費用負担を**

**町長** 施設を利用して人、いない人、その均衡を図ること。また、徴収をし

ている施設もあるので、今の状況を調査している。基本的には、学習権ということはあるが、若干の費用負担をお願いすることが、必要と思っている。

**財政改革について**

**大賀孝訓議員** マスコミなどによると、国の平成28年度予算が固まりつつある。国費においては純増が3兆円を超え、史上空前の96兆円超えとある。ただ懸念されるのが地方交付税で、2800億円ほど削減をしているとのこと。邑楽町においても予算編成の真つ盛りであると思うが、現状はどうであるか。

**町長** 現在、平成28年度の予算編成に向けて作業を進めている。歳入を見ると、支出の増加に十分見合うだけの歳入がないのが現実である。十分精査をした中で、行政運営において町民サービスを低下させないような

**その他の一般質問**

- ・今後の町づくりの基本的な考えについて
- ・国道122号大根村交差点について

編成を行っていく。

**大賀孝訓議員** 町の自主財源の伸びが期待できないのであれば、歳出削減を進めなければならない。特に支出の中でも大きなウエイト

を占めているのが、国民健康保険や介護保険、後期高齢者医療等の特別会計であるが、町長の考えは。

**町長** 一般会計から特別会計への支出金額は、年々増加をしている。それぞれの保険にに応じて健康の維持増進、健康に関しての予防活動を重視していくことがこれからは求められる。

**大賀孝訓議員** 執行部として、特別会計への支出を極力抑える、削減をしていくということは力強い言葉だ。具体的にどんな施策をして



ウォーキングで健康づくり

いくかが大きな課題である。健康管理、予防医療、健康寿命の増進等について何をしていくかである。ウォーキングやジョギング、ラジオ体操などの奨励のためのCDを各自治会へ配布等の方策も考えられる。町を見渡すとグラウンドゴルフ等を行っている高齢者も多い。ただ問題は、表で運動する事ができず、コミュニケーションも少ない方々である。いかに健康推進をしていくか。保健センターの保健師が表に出て在宅訪問をし、健康を促すような施策も必要ではないか。

### 歳出削減を進めていく

**町長** 一般事業の中でも歳出削減は進めており、保険の関係でも健康維持増進を進めている。ウォーキングやジョギングコースについても設定している。保健師の増員については、現在6名いる保健師がデータヘルス計画を立て、適正に指導

ができるよう進めていきたい。特に増員については考えていない。新たな事業展開が増え、進めていくことがより効果的であるということであれば検討していきたい。

**大賀孝訓議員** 20億円を超えるような財政調整基金があるが、当初予算での使用方は考えているのか。  
**町長** 協議の中で認めていただければ考えていきたい。

**その他の一般質問**  
・教職員の人事異動について



## 町長のマニフェストと町政運営について

**原 義裕議員** 邑楽町版の町づくり総合戦略は、国の地方創生事業政策の邑楽町版と理解してよいか。

**町長** 国での地方創生事業を基本とし、邑楽町に合った人口減少対策を中心に、他の町より子どもを育てやすい環境づくりを挙げたい。

**原 義裕議員** 町づくり総合戦略は、いつ策定し、いつ実行、いつ完成させるのか具体的に聞きたい。

**町長** 人口減少対策を挙げれば、すでに実行されている事業もある。

**原 義裕議員** 町長にとって、マニフェストとは、どのように考えるか。

### 約束したことは実行

**町長** マニフェストは、私の考えや主張を町民の皆さま

んに表明して、町政執行していくことである。約束したことは実行していく。

**原 義裕議員** ゼロ歳児保育の充実とファミリースポーツセンターの新設とは、どのようなものか。

**町長** ゼロ歳児保育は、北保育園でも実施していく。サポーツセンターは、子育ての悩みや相談が必要になると思うので、充実させて北保育園の一室で行う。

**原 義裕議員** 児童館を利用して、放課後児童への学習指導を充実とあるが。

**町長** 留守家庭児童等は、増えている。今も、放課後の時間を利用し学習指導しているが、なお一層指導体制を強化していく。

**原 義裕議員** 国際化社会対応の、小中学校英語講師

の増員と指導の検討をしていくというが、どのようにするのか。

**町長** 昨年から、各小中学校に1名のALT（外国語指導助手）をお願いしている。小学校でも、英語教育が必須科目になる。今後必要に応じ、教育委員会と協議していく。

**原 義裕議員** 小学校にも英語教師を増やすということか。

**町長** 充実強化を図っていく必要があると思うが、教育委員会と協議して、必要性があれば対応していく。

**原 義裕議員** 英語の授業は必要で大切と言っている。にもかかわらず、教育委員会に相談するという。必要に応じては、いつになるか聞きたい。

**町長** 充実強化を図るといふことは、当然必要性は出てくる。公約の中にあるが、十分検討協議していきたい。

## 町の防災について

**原 義裕議員** 産業振興推進の中で、新たに産業団地を造成して、企業誘致・雇用の創出を推進するとあるが。

**町長** 現在5か所の用地を県に協議対象地域として挙げている。

**原 義裕議員** 財政調整基

金が、20億700万円ということだが、町としてはどのくらいあればいいのか。  
**町長** 町政運営の中で、歳入不足等が生じた場合、財政調整基金をどのくらい保有するか難しい。私案としては、15億円前後と思う。財政調整基金については、議会に諮<sup>はか</sup>っていく。

**黒田重利議員** 今年の開

ることも啓発につながる。

東・東北豪雨は、過去にな  
い水害だった。それを踏ま  
えて、邑楽町の災害ハザ  
ードマップの活用は。

**安全安心課長** 利根川、渡

良瀬川、矢場川などの河川  
が決壊・内水氾濫した場合  
に想定される浸水の深さや

**黒田重利議員** 大変重要な書類のはずだが、しまい忘れていたり人や、細かすぎて見にくいといった人もいる。よりわかりやすく、簡単なものにはならないか。

範囲、避難場所など役立つ  
情報をわかりやすくまとめ  
ている。日頃から災害に対

**安全安心課長** マップを発行した平成26年3月に町内全世帯に配布し、町のホームページでも公開している。

する安全な避難行動に役立  
てていただきたい。区の集  
会施設に掲示するなど、区  
民が集まる場面で話題にす

る。本年9月の茨城県等の大水害の後、住民からマップに関する問い合わせがあった際にもお渡しした。ホーム

ページ上では川が氾濫した場合の浸水予想図や避難所を拡大して確認できる。要望があれば、拡大図をお渡しすることも可能である。

**黒田重利議員** 高齢者やパソコンを使えない人のための対策は。

**安全安心課長** 要望があれば、事前に拡大した資料を用意して、区長などにお渡しすることもできる。

**黒田重利議員** 災害時、町独自の準備、町外からの支援は。

**安全安心課長** 2年ごとに

町防災訓練を実施。今年から、より実践的な訓練で、住民の災害時の対応力の強化を目指している。自主防災組織による、独自の防災訓練を実施している行政区もある。災害発生直後の住民の行動が大変重要となるため、地域での絆を強め地域力を高めることが、災害時の対応力につながる。災害時の町外からの支援等は、



小学校に設置された防災倉庫

県や近隣市町村、企業などと21種類の協定や覚書を結んでいる。飲料水や生活物資など、多岐にわたって災害に備えている。

**黒田重利議員** より多くの人に体験していただくには、**安全安心課長** 広報紙等に掲載し、区長会にも依頼している。十分事前に周知しながら一般の方が参加できるような、内容を検討していきたい。

**黒田重利議員** 町の防災計画では、町民の34%約9300人程度の被害を想定しているが、備蓄の現状と今後の対策は。  
**安全安心課長** 防災倉庫は、庁舎北側、ヤングプラザ体育館北側、町内の4小学校に設置した。今後5年間をかけて計画的に備蓄予定。

**黒田重利議員** これからの町の防災について、どのように考えているか。

## 防災活動を推進

**町長** 防災対策の充実は、町づくりに欠かせない。議論点も重視しつつ、身近な

ところから防災活動を推進したい。

### その他の一般質問

・中学校の部活動について

## 人口減少対策について

**松島茂喜議員** 人口減少、高齢化が進む中で、さまざまな問題が山積しているが、邑楽町の現状は。

**住民課長** 平成27年4月1日現在の日本人のみの人口は、2万6622人であり、平成22年と比較すると、842人、3・1%減となっている。また、5年間の転出は、3762人、転入が3417人で、345人減少している。

**松島茂喜議員** 注目すべきなのは、転入・転出だが、特効薬を打たなければ、歯止めがかからない。これまで取り組んできた政策と実績については。

**町長** 出産祝金の拡大、多子家庭の保育料などの軽減措置を行ってきた。今後は、工業団地や商業施設の誘致が特に必要だと考えている。

**松島茂喜議員** 子育て支援については、どこの自治体でも同じような政策を行っている。ニンジンの数を増やしても特効薬にならない。考えなくてはならないのは、この地域の特性を生かした町独自の政策であると思うが、町長の見解は。

**町長** 子どもを産み育てやすい環境づくりという点から、就学のための費用の貸付や、入院に限って高校生までの医療費無料化などを



The Lounge  
— 休憩室 —



船橋 徹  
(前原・4区)

## 年頭に思うこと

師走から正月にかけて、記録的な暖冬ということがマスコミ等で大きな話題となった。

邑楽町においても、温暖な日々が続く、穏やかな正月であった。

邑楽町に住む私たちにも穏やかな日々が続くことを願ってやまない。そのために「一番心掛けたいことは、健康な毎日の生活ということである」。

何気ない日々の中で、当たり前のようには生きているが、改めて健康な生活が送れることに目を向け、感謝をしたいものである。

食事、運動、規則正しい生活等常に健康というキーワードを頭の片隅に置き、生活したいと思う。

よく「平凡な中の非凡」といわれるが、それも健康な日々の積み重ねであろう。健康に気を遣った日々こそ、私たちの最も大切にしたいことと気持ちを新たにしている。





人口減少対策は重要な課題

考えている。

**松島茂喜議員** 私は、今までの事業を拡大していくことではなく、町独自の政策が必要ではないのかと聞いている。子どもを産み育てる環境づくりというが、そもそも、館林市・邑楽郡内に産婦人科を備えた医療機関は、現在1か所だけである。首長の政治力が問われているが、この状況をどう考えているのか。

**町長** 大変医師の欠員を生

じており、現在も努力している。一日も早く改善できるようにしたい。

**松島茂喜議員** 具体的にどんな努力をしてきて、これからどんな努力をしていくのか。

**町長** 具体的にこうだということが申し上げられなくて、申し訳ないが、ご理解をいただきたい。

**松島茂喜議員** 結果的には無策ということなのか。そ

こからやらなければ、状況は好転しない。また、邑楽町が行ってきた土地規制が住みたいと思っている人の妨げになっている。特に大規模指定既存集落などは見直しを行う必要があると思うが。

**町長** 是非、充足ができる形での取り組みで、定住化を図ってもらおう考え方を持っていきたい。

**松島茂喜議員** 町独自の政策を打ち出すことにより、



小倉 佳子  
(下中野・1区)

## 便利な世の中でこそ 忘れたくないもの

大晦日に皆で年越しそばを食べ、元旦にはお屠蘇とおせち料理で新年をお祝いする。これが我が家の風物詩である。四季折々、昔ながらの慣わしを毎年続けてくれる母に感謝している。

20年余り前、携帯電話が普及し、今まで何十件と覚えていた電話番号を全く覚えなくなつた。カーナビが付いたので地図を読むことなく目的地に着けるようになった。電車に乗るのも買い物をするのも、ICカードを使うので、お釣りの計算をしないでお金を払うようになった。とても便利な世の中になったが、人間としての機能が衰えてしまう気がして仕方がない。数年後には自動運転の車もできるよつで、ますます手足を使わなくなり、危機回避能力も必要なくなり、大丈夫なのかと思ってしまう。しかし、どんなに便利になっても人の温かさは忘れたいので、私も母を受け継いでいこうと思う。

都心からの人を呼び込むことができると思うが、中心になるのは行政である。この問題を最重要課題と捉えて、専門的な課や係の設置が必要であると思うが。

### 係の再編は必要

**町長** 一つの目的を達成するために複数の課が関わっているもので、係の再編は必要だと思う。

### その他の一般質問

・中央公民館建設について

## 町公共施設の ネーミングライツの導入を

**小島幸典議員** 中央公民館維持管理費削減のためネーミングライツの導入を提案する。一例として、県民会館のベイシアホール、敷島公園の県営競技場は、正田醤油スタジアムと名前を使っている。町はこれから中央公民館を建設する中で、公民館ホールの名称にこの制度適用を。

**生涯学習課長** 施設の管理運営費の確保を目的とした命名権売却をとの提案であるが、町村では導入例がない。知名度が高く、スポンサーにとっても魅力的な施設

であれば可能と思う。邑楽町でネーミングライツの売却が可能か勉強したい。

### 小島幸典議員

新しい公民館ができたとなると、人件費を含め年間約1億2000万円の維持管理費がかかるが、後世に負担をかけるだけでなく夢を持たせる子ども、大人、また各企業に宣伝して、町長が言っている協働のまちづくりは住民だけの協働でなく、他の企業も含め、課長が研究すると言っているので、早急に研究グループを立ち上げ、

勉強、訪問、募集の前向き営業で、子どもを含めた若い人たちの参加で、早目にアドバロンを上げるのがよいと思う。

### 職員と十分検討

**町長** これから職員と十分検討し、少しでも活力が出るよう頑張りたい。

### 小島幸典議員

企業が、個人の生活が豊かにできるという人たちを応援しますとなった場合、課長が研究する、やってみようという中、指令するのは町長である。早急に委員会の設置を。

### 町長

企業にとって地域貢献になることはあるが、反面、企業にとってメリットも出てくると思っている。命名権の施設を売却するというような施設、金額と十分研究する時間が必要である。これらを決める中で公募という形になると思うが、施設を利用する方々と町民の理解をいただきたい。

小島幸典議員 これからの人口減と、施設使用が少なくなつた場合、協力者が必要である。民間企業はすごい知恵を持っている。アメリカで飛行機を売る会社も出ている。ネーミングライツのセールスをどう思うか。

**町長** ネーミングライツのみならず、町の企業振興については、積極的に取り組んで行こうと思っている。

### 小島幸典議員

仕事には、スピードとタイミングが必要だ。シンボルタワーも、四季折々の行事で活用し、夏は夏の行事、今日クリスマスですけれども、みんなあそこへ上がって楽しむと思う。そのシンボルタワーの活用方法を町はどう考えているか。

### 町長

12月22日、タワーオブクリスマスがあった。タワー壁面を利用した映写等、展望台では、催し物もやって、町内外から大勢来ていただいた。これからも積極的に観光等も含めて振興を

図っていく。

### その他の一般質問

・公職選挙法に関する選挙管理委員会の見解を



議会のうごき

11月

- 9日 中央公民館建設特別委員会情報交換会
- 11日 全国町村議会議長会全国大会
- 19日 大泉町外二町環境衛生施設組合議会全員協議会
- 20日 群馬県町村議会議長会臨時会
- 27日 議会広報委員会研修
- 30日 中央公民館建設特別委員会情報交換会

12月

- 7日 中央公民館建設特別委員会情報交換会
- 9日 議会運営委員会
- 10日 総務教育常任委員会、産業福祉常任委員会
- 11日 全員協議会、中央公民館建設特別委員会
- 15日 邑楽町総合開発計画審議会
- 22日～28日 12月定例会  
(本会議、議会運営委員会、各常任委員会、  
全員協議会、中央公民館建設特別委員会、  
広報委員会)
- 28日～31日 消防団歳末警戒の督励

1月

- 9日 館林地区消防組合出初め式
- 10日 成人式
- 14日 広報委員会編集会議
- 15日 群馬県町村議会議長会理事会
- 19日 新年賀詞交歓会
- 21日 広報委員会校正会議
- 29日 邑楽郡町村議会議長会臨時会

【不採択となった請願】  
▼交差点における道路交通の危険を除去・緩和し、交通の安全を保持・増進するための適切な対応を求める請願

継続審査となっていた請願が審査され、結果次のおりになりました。

請願・陳情

請願者

邑楽町篠塚

交通事故防止を求める会  
代表 塚越史郎



議会を傍聴しましょう

次回の定例会は、  
**3月8日から18日**を予定しています。

(開会は原則、午前10時 一般質問は9日、10日を予定)

住所・名前・年齢を受付簿に書くだけでどなたでも傍聴できます。  
役場庁舎1階ロビーのテレビにおいても、本会議の様態を中継していますので、お気軽にご覧ください。

議会の会議録(議事等の経過をそのまま記録したもの)は、図書館、邑楽町公民館、産業研修会館(長柄公民館)、勤労青少年ホーム(ヤングプラザ)に置いてあります。また、ホームページでも会議録全文や本会議の様子を動画配信により見ることができますので、ご覧ください。

URL <http://www.town.ora.gunma.jp/chosei/gikai>

詳しくは、議会事務局まで 88-5511 (内線300)

# 東京都大田区



廣越 俊昭  
(新中野・33区)

## 私

のふるさととは、東京都大田区です。今では、都内にかかわらず、家

た。夏には、多摩川花火が見

結ぶ「品鶴線」があり、今では、新幹線が走っています。

こんなことを覚えている人は少なくなっています。しかし、懐かしさを感じます。

並に埋もれています。数年して、疎開先から帰って住んだ所が、今の地名で田園調布南という、東京の外れになる所でした。子どもの頃に住んだ所で、多摩川近くに住まいがありました。父が作った塀に囲まれた中には、犬やアヒル、山羊、うさぎ、そして、小舎には、にわとりや鳩まで飼っていました。畑もあり、のんびりとした田園風景の所でした。

夏には、多摩川花火が見られ、釣りをしたり、自転車を土手で乗り回したものです。1kmほどの所に駅があり、近くには、歌で有名になった「さくら坂」があります。春には、綺麗な桜並木が楽しめます。小学校へ行く途中には小川が流れて、階段を下りると水の流れる横に洗濯場があり、衣類などを洗濯している人がいたのを思い出しました。家から見える土手の中段の所は、昔、品川と鶴見を



さくら坂と桜並木



昨年を振り返ると、選挙の多い年でした。4月の統一地方選挙に始まり11月の町長選挙まで、大変忙しな年でした。

新しい年を迎え、通常、1月にもなると北風が厳しくて、バケツには氷が張り、外水道も凍って水が出なくなる時期です。

それに比べて、今年は気温が高く、上州名物の「からっ風」も影を潜め、地球温暖化が進んでいることが肌で感じられます。

この暖かさのためか、多々良沼や役場庁舎前の池に飛来している白鳥の数も例年に比べ少ないそうです。

天気予報では、このまま2月いっぱい暖かいそうです。この温かさでは、さくらの開花も早まり、春の訪れも早いかも知れません。

寒暖の差が予想しにくくなっております。皆さま、体調管理には十分留意されお過ごしください。

(黒田記)